

キャラクター名  
 墨雪 牡丹(スミユキ ボタン)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	FHチルドレンB	カヴァー	FHチルドレン
	ノイマン					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %	
出自	天涯孤独	経験	奸計	邂逅	欲望表:満足	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0		1			1	行動値	8
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	8
精神	6		0			6	戦闘移動	13
社会	2		0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	9	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
桜下美刃(キーンエッジ×10)		0		5		装甲-5。
桜花嵐刃□八重	射撃	6r+6		40	1~4使用	装甲-40 侵蝕率+12
桜花嵐刃□八重一重	射撃	6r+6		45	1~4使用	装甲-45 侵蝕率+12
桜花嵐刃・十刃一絡華	射撃	9r+6		50	1~4使用	装甲-50 侵蝕率+12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
超血統	P	N		
破壊の子	P	N		
"アンタレス"	P 懐旧	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 22    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ノイマン	2	2	M	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
コントロールソート	1	2	M	武器	-	対決	-	
効果: <射撃>選択 【精神】による置換。								
マルチウェポン	7	3	M	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃に同じ技能の武器を二つ選択できる。								
ヴァリアブルウェポン	7	5	M	武器	-	対決	リミット	
効果: 3と使用時、攻撃力に+Lv個分の武器の攻撃力								
完全演技	★							
効果:								
@1	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

"アルフェッカ" 墨雪 牡丹

元FHセル"ティーガー"所属のFHチルドレン。  
 お淑やかで穏やか、物腰柔らかな令嬢のような印象を受ける少女。容姿や言葉とは裏腹にそれなりのバトルジャンキー。ピュアブリードの中でも能力の特出した"超血統"と呼ばれるノイマン保有者で、最大9本のナイフを常人には理解できない投擲技術により操る。  
 端的に言い表そうとすれば、ナイフでビリヤードをしているとのこと。  
 好きなものは、戦闘と強い人。  
 嫌いなものは、何もしていない時間と一人でいる時間。  
 一人称は「私(わたくし)」、二人称は「OO(名前やコードネーム)さん」  
 求めるものは、自分を満たし続けるもの

戦闘、特に死闘への強い執着があり、課せられた任務を無視して単独行動を行ったり、UGNチルドレンをボコボコにするだけボコボコにしてここで殺すのは惜しいからとわざと生かしたり、謀反にも近い行動が多かったためセルからは追放、その先で"ティーガー"セルのエージェントに嵌められ、寄越された刺客に殺されかける。その場に現れたUGNの介入によって命からがらそこから逃げ出すことに成功したが、FHとして表立って動くことも難しいとして、なし崩し的に"ラビッシュ・ビン"へ行き着くことになった。  
 "ラビッシュ・ビン"では戦闘の機会にあまり恵まれず、闘争に対する欲求もなりも潜めていたところで、件の"スパーキー"の裏切りによるUGNの襲撃があり、木っ端な追っ手がある程度倒しながらの逃走劇がきっかけとなったのか、以前の闘争を再び求め始めるようになり、どうにかFHで自由の与えられる立場まで取り立ててもらえないかと考えるようになる。  
 "ラビッシュ・ビン"での生活はほぼ人としての生活を保っていないが、競争だけのほとんどかかわり合いのない孤立した時間の多かった"ティーガー"セルに比べ、近い年齢の子らと一緒にいる時間がそれなりにあるため、割と気に入っている。